

各研究科が必要と認める提出書類(要項3.出願書類(10)(13))及び研究科連絡先一覧(2026年度)

研究科名	出願書類(10) 研究科が必要と認める語学能力の証明及び最低基準	出願書類(13) その他研究科が必要と認める提出書類等	研究科連絡先	E-mail	英文ホームページURL	出願前連絡先
人文学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー、2年以内の受験結果) TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	修士論文がある場合にはその写しと要旨(要旨は和文3000字または英文2000語程度)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(和文2000字または英文1000語程度)。 ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告や研究レポート等の内容及び要約(和文2000字または英文1000語程度)。	文系教務課 教務グループ	hum@mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.hum.nagoya-u.ac.jp/en/	B.教員
教育発達科学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー) TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	修士論文がある場合は、その写しと要旨(日本語3000字または英語1500語程度)。	文系教務課 留学生相談室	ryuugaku@educa.nagoya-u.ac.jp	http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/en/index2.shtml	A.研究科
法学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー、2年以内の受験結果) TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果) 日本語または英語での博士論文執筆能力を有しているか否か判断するため、語学試験を実施する。 ただし、以下の要件を満たす者については、語学試験を免除する。 TOEFL PBT: 550以上 TOEFL iBT: 79以上 IELTS Band Score: 6.5以上 TOEIC: 800以上 JLPT(日本語能力試験): N1	修士論文の写しとその要旨A4、5-6枚(中国語及び日本語または英語)及び研究計画書(中国語及び日本語または英語。中国語2000字程度、日本語3000字程度、英語1500語程度) 修士論文作成中の場合は、修士論文の写しの代わりに修士論文の題目を提出する。なお、要旨は指導教員が内容に間違いのないことを確認した旨の証明が必要。 修士論文の写しとその要旨及び研究計画書の提出をもって、小論文の提出に代える。そのため、(9)小論文の提出は不要。	文系教務課 教務グループ	law-kvomu@mail.nagoya-u.ac.jp	https://gs.law.nagoya-u.ac.jp/	A.研究科
経済学研究科	TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	経済学研究科指定の申請書(研究科に問い合わせること) 「博士学位の取得を目的とする者」は、次の2点も必要とする。 1.経済学あるいは経営学に関する修士論文。 2.提出論文の目的、論文内容の概要、関連する他の研究との比較、論文の残された問題を明確にした研究報告書(1,600字程度、英語の場合には800語程度)。	経済留学生相談室	ryu-gaku@soec.nagoya-u.ac.jp	http://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/?lang=en	A.研究科
情報学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー) TOEIC, TOEFL, IELTS, Duolingoいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	修士学位論文1部(写可)及び論文要旨1部(日本語もしくは英語)(修士学位論文を提出しないで修了した者はそれに代わる研究論文等)ただし、修士学位取得見込の者は、修士学位論文は不要であり、論文要旨1部のみを提出すること。	教務学生係	admission@i.nagoya-u.ac.jp	https://www.i.nagoya-u.ac.jp/en/graduate-school-of-informatics/	B.教員
理学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー) TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	-	教務学生係	ri-ryu@mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/en/index.html	B.教員
医学系研究科	英語能力がわかる語学試験のスコア(原本、2年以内の受験結果) ((1)TOEFL - 80 iBT; 60 Paper-delivered Test以上 (2)IELTS - 総合バンドスコア 6以上 (3)Duolingo English Test 110 以上 (4)Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) C1以上 (5)上記と同等以上の英語能力があることを証明する成績)	出願書類を基に、2026年1月に英語による口頭試問を実施する。また、本学医学系研究科の受入予定教員による面接を受け、その結果を記入した総合成績評価報告書を必要とする。詳細は、学務課大学院係に確認すること。 修士学位取得(見込み)証明書の提出が困難な場合には、修士学位取得(見込み)証明書を提出すること。	大学院係	iga-ryu@mail.nagoya-u.ac.jp	https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_E/	B.教員
工学研究科	TOEIC, TOEFL, IELTS, Duolingoいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	-	留学生係	kou-ryu@mail.nagoya-u.ac.jp	https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/?lang=en	B.教員
生命農学研究科	TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果) これに加えて、JLPT(日本語能力試験)のスコアを有している者は、参考として使用するためコピーを提出してもよい。	-	教務学生係	kvomu@agr.nagoya-u.ac.jp	http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/index-e.html	B.教員
国際開発研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー) TOEIC, TOEFL, IELTS, Duolingoのいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果) (注)TOEICスコアを提出する場合は、Listening & Reading testとSpeaking & Writing testの両方を受験し、両スコアを提出しなければならない。 TOEFLは、iBT (internet-based test)、CBT (computer-based test)、PBT (paper-based test)のスコアを受け付ける。ITP (Institutional testing program)は、受け付けない。	修士論文がある場合にはそのコピーと要約(日本語3000字または英語1200語程度)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(日本語3000字または英語1200語程度)。 ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告書、研究著書等のコピー及び要約(日本語3000字または英語1200語程度)。	文系教務課 教務グループ	gsidexam@mail.nagoya-u.ac.jp	https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/en/	B.教員
多元数理科学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー) TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	-	教務学生係	ri-ryu@mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.math.nagoya-u.ac.jp/en/index.html	B.教員
環境学研究科	TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果)	環境学研究科を希望する志願者は、修士学位論文(修了見込みの場合には提出予定のもの)の概要を英語600~1000語、あるいは日本語1,000~2,000字でA4用紙に任意の書式でまとめ、PDFファイルとして提出すること。なお、修士学位論文がない場合には、修士学位の審査対象となった作品などについて、上記に準じた要領(図表等の付加可)で提出すること。	大学院係	env@mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.env.nagoya-u.ac.jp/english/index.html	B.教員
創薬科学研究科	JLPT(日本語能力試験)(コピー)及び TOEIC, TOEFL, IELTSいずれかの英語スコア(原本、2年以内の受験結果) 可能な限り複数のものを提出することとする。	修士論文がある場合にはそのコピーと要約(日本語2000文字または英語1000語程度。図を含めてもよい。)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(日本語2000文字または英語1000語程度。図を含めてもよい。)。ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告書、研究著書等のコピー及び要約(日本語2000文字または英語1000語程度。図を含めてもよい。)。	創薬科学研究科・細胞生理学研究センター事務室	souvaku.nyushi@mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.ps.nagoya-u.ac.jp/en/	B.教員

(注意) 創薬科学研究科では、2025年10月より受入再開。